



## 平成29年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年9月2日

上場会社名 株式会社 ロック・フィールド 上場取引所 東  
 コード番号 2910 URL <http://www.rockfield.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岩田 弘三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊澤 修 TEL 078-435-2800  
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年4月期第1四半期の連結業績（平成28年5月1日～平成28年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年4月期第1四半期	12,377	2.5	637	68.7	663	72.4	468	113.3
28年4月期第1四半期	12,073	2.6	378	25.7	384	19.9	219	19.3

(注) 包括利益 29年4月期第1四半期 456百万円 (96.2%) 28年4月期第1四半期 232百万円 (15.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年4月期第1四半期	17.65	—
28年4月期第1四半期	8.28	—

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年4月期第1四半期	30,307	24,969	82.4	940.10
28年4月期	30,945	24,937	80.6	938.91

(参考) 自己資本 29年4月期第1四半期 24,969百万円 28年4月期 24,937百万円

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年4月期	—	18.00	—	32.00	50.00
29年4月期	—	—	—	—	—
29年4月期（予想）	—	9.00	—	16.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成28年4月期については、当該株式分割前の実際の配当額を記載しております。

### 3. 平成29年4月期の連結業績予想（平成28年5月1日～平成29年4月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	25,321	4.3	1,190	34.0	1,206	33.5	723	33.1	27.23
通期	51,777	3.7	2,822	10.8	2,854	10.5	1,721	6.2	64.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年4月期1Q	26,788,748株	28年4月期	26,788,748株
② 期末自己株式数	29年4月期1Q	228,628株	28年4月期	228,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年4月期1Q	26,560,166株	28年4月期1Q	26,560,586株

(注) 当社は、平成28年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年5月1日～平成28年7月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、政府や日銀の各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調で推移したものの、円高による企業業績の減速感の強まりから個人消費の回復には弱さが見られ、本格的な景気回復には至りませんでした。また、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気減速、英国のEU離脱問題など、海外経済の不確実性の高まりや金融・資本市場への影響が懸念されるなど、先行きへの不透明感は一層強まりました。

このような状況の中、当社は「The Mirai Salad Company」を目指し、お客様にいつでもご満足いただける売場づくりに継続して取り組んでまいりました。「駅ビル」「駅ナカ」立地の店舗では、駅の持つ集客力や利便性を活かし、従来の量り売りを中心とした販売方法から、パック化した商品を中心に販売する方法に継続して取り組むとともに、都心立地の店舗においても多段オープンケースの導入を推進し、パック化した商品の販売を強化することで、夕方の混雑時にクイックにお買い物ができるようにするなど、お客様の満足度向上に取り組ましました。郊外立地の店舗では、お客様の多様なニーズにお応えするため、RF1ブランドからRF1、いとはん、融合などの商品を組み合わせさせたセレクトショップのグリーン・グルメブランドへの転換を継続して行いました。さらに、曜日別、時間帯別、イベントに合わせた商品・品揃えの提案、素材や調理法にこだわった高付加価値商品を積極的に導入したことが売上高と営業利益の伸長に繋がりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高12,377百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益637百万円(前年同期比68.7%増)、経常利益663百万円(前年同期比72.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益468百万円(前年同期比113.3%増)となりました。

ブランド別の売上は次のとおりであります。

ブランド		平成28年4月期 第1四半期(連結)		平成29年4月期 第1四半期(連結)		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
RF1		百万円	%	百万円	%	%
	サラダ	4,837	40.1	4,715	38.1	97.5
	フライ	2,004	16.6	1,896	15.3	94.6
	その他そうざい	1,512	12.5	1,721	13.9	113.8
	小計	8,354	69.2	8,332	67.3	99.7
グリーン・グルメ		1,329	11.0	1,603	12.9	120.6
いとはん		968	8.0	916	7.4	94.6
神戸コロッケ		662	5.5	713	5.8	107.7
ベジテリア		400	3.3	404	3.3	101.1
融合		255	2.1	300	2.4	117.8
その他		101	0.9	105	0.9	103.5
合計		12,073	100.0	12,377	100.0	102.5

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「RF1」ブランドにおきましては、「食と健康」をテーマにサラダを中心とした健康的な食生活・食習慣の提案として、1日350gの野菜の摂取を啓蒙するリーフレットを配布し、広く健康情報の発信を行いました。また、新ごぼうやオクラなど初夏の野菜とカツオ、帆立などの素材を使用した季節商品、母の日や父の日といったイベントに合わせた華やかで贅沢な特別商品の展開などにより、季節感や感謝の気持ちを感じていただける食卓提案を行いました。その結果、売上高は8,332百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

「グリーン・グルメ」ブランドにおきましては、RF1、いとはん、融合などの商品を組み合わせさせたセレクトショップとして、各ブランドのサラダを中心とした品揃えに、いとはん、融合の商品を積極的に導入し、お客様のニーズに合わせた売り場づくりを行いました。その結果、売上高は1,603百万円(前年同期比20.6%増)となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、出汁の美味しさや新ごぼうなど初夏の野菜を使用した商品を提案するなど、現代版の一汁三菜の考え方を取り入れた四季の食材、海の幸、山の幸を堪能できる「一汁二菜プラス和さらだ」の食卓提案を行いました。その結果、売上高は916百万円（前年同期比5.4%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、コロッケを中心とした品揃え強化策として、神戸牛を使用した高付加価値コロッケや塩たまねぎ、新ごぼうなど旬の素材を使用したコロッケやカツの展開を行いました。また、新たな取り組みとして、「食と健康」をテーマとした豆腐を使用したコロッケの提案を行いました。その結果、売上高は713百万円（前年同期比7.7%増）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、お客様の健康サポートをテーマに、野菜不足の解消と手軽に野菜の栄養を補給できるように、野菜のチカラを活かしたジュースの強化に取り組みました。その結果、売上高は404百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

「融合」ブランドにおきましては、「アジアで元気になろう」をテーマに、リーフレットで商品の情報やアジア料理と健康に関する情報発信を継続して行いました。また、アジア料理独特の調味料やスパイス&ハーブを使用するとともに、旬の野菜や素材を使用した商品の展開を行いました。その結果、売上高は300百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

なお、当社グループはそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べて637百万円減少し、30,307百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少570百万円、売掛金の増加242百万円、原材料及び貯蔵品の減少128百万円、繰延税金資産の減少133百万円等によるものであります。

負債合計は前連結会計年度末と比べて668百万円減少し、5,338百万円となりました。これは主に、買掛金の増加64百万円、法人税の支払による未払法人税等の減少574百万円、賞与引当金の減少404百万円等によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べて31百万円増加し、24,969百万円となりました。これは主に、四半期純利益468百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少424百万円等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は82.4%、1株当たり純資産額は940円10銭となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績予想に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,777	11,206
売掛金	4,171	4,414
製品	67	60
仕掛品	77	69
原材料及び貯蔵品	481	352
その他	520	405
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	17,096	16,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,927	6,859
土地	2,948	2,948
その他(純額)	1,920	1,952
有形固定資産合計	11,795	11,760
無形固定資産		
その他	357	328
無形固定資産合計	357	328
投資その他の資産		
その他	1,705	1,720
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,695	1,710
固定資産合計	13,848	13,799
資産合計	30,945	30,307
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,224	1,288
1年内返済予定の長期借入金	78	78
未払法人税等	700	125
賞与引当金	663	259
その他	2,901	3,151
流動負債合計	5,568	4,903
固定負債		
長期借入金	9	7
その他	429	427
固定負債合計	438	435
負債合計	6,007	5,338

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	13,643	13,687
自己株式	△210	△210
株主資本合計	24,837	24,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	36
為替換算調整勘定	62	50
その他の包括利益累計額合計	99	87
純資産合計	24,937	24,969
負債純資産合計	30,945	30,307

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
売上高	12,073	12,377
売上原価	5,058	5,070
売上総利益	7,014	7,306
販売費及び一般管理費	6,636	6,668
営業利益	378	637
営業外収益		
受取配当金	4	4
保険配当金	0	11
為替差益	—	5
その他	4	5
営業外収益合計	8	26
営業外費用		
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	384	663
特別損失		
役員退職功労金	20	—
特別損失合計	20	—
税金等調整前四半期純利益	364	663
法人税等	145	194
四半期純利益	219	468
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	219	468



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年5月1日 至平成27年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)
四半期純利益	219	468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10	△0
為替換算調整勘定	2	△11
その他の包括利益合計	12	△12
四半期包括利益	232	456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232	456
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。